# おかざきっ子 育ちプラン 修正案

# 3 計画の対象

本計画における「子ども」とは、胎児、乳幼児期、学童期、思春期を含む 18 歳までの児童を指します。また、本計画の主たる対象は、子どもと保護者(子育て家庭)とします。

本計画における次の語句は、児童福祉法と子ども・子育て支援法に基づいて定義しています。

・子ども : 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者

・児 童 : 18 歳未満の者・乳 児 : 1 歳未満の者

・幼 児 : 満1歳から小学校就学の始期に達するまでの者

・妊産婦 : 妊娠中又は出産後1年以内の女性

・子ども・子育て支援

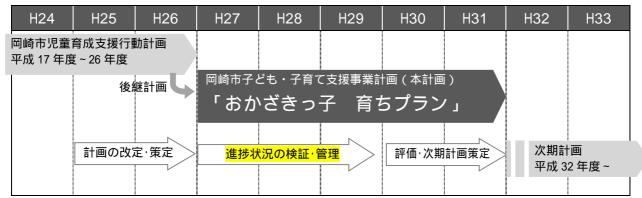
: すべての子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、 国、地方公共団体、地域における子育ての支援を行う者が実施する子ども及び

子どもの保護者に対する支援

# 4 計画の期間

本計画の期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 か年とします。定期的に進捗状況の検証を行い、社会情勢の変化などに応じ必要な見直しを行うものとします。また、計画最終年度である平成 31 年度には達成状況の確認と 5 か年の総合的な評価を行います。

(年度)



### 0~2歳の保育利用率

	25 年度利用実績	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
全市	16.8%	22.1%	22.5%	22.7%	22.9%	23.1%

保育利用率は各年度の定員を推計人口で除して算出

## 提供体制の考え方

提供体制については、平成29年度末までに平成30年度の量の見込みに対応できる確保方策を講じるものとします。

確保の内容は、基本的には、既存の保育所の定員増や公立幼稚園の認定こども園への移行等により、今後の量の見込みに対する提供体制を確保していきます。

地域型保育事業(小規模保育事業、事業所内保育事業等)については、保育所や認定こども園の補完的な役割として位置づけ、今後、状況の変化に伴い各区域内の保育需要が著しく増加する場合など、その必要性について、その都度、対応を検討していきます。

## <整備計画>

保育園の建替え(定員変更)

平成27年度 大門保育園(岩津区域)

平成 28 年度 百々保育園(岩津区域)・渡保育園(矢作区域)

平成30年度 山中保育園(東部区域)

幼稚園の認定こども園化(2号定員確保)

平成 29 年度 公立幼稚園を幼保連携型認定こども園(3 歳以上の児童対象)に移行

平成 31 年度までに段階的に 2 号定員を確保

梅園幼稚園(中央区域)・広幡幼稚園(中央区域)・

矢作幼稚園 (矢作区域)

### 幼保連携型認定こども園目標設置数

単位(箇所)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
全市	0	0	3	3	3

## (2)教育事業(幼稚園・認定こども園(1・2号))

### 事業概要

義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする事業です。

## ▶ 提供区域 -----



施設数

幼稚園・認定こども園…27箇所(認定こども園2箇所)

中央地域…9箇所 岩津地域…3箇所 岡崎地域…2箇所 矢作地域…5箇所 大平地域…2箇所 六ツ美地域…2箇所

東部地域…2箇所 額田地域…2箇所(認定こども園)

現況

平成 21 年度から平成 25 年度にかけて、増加傾向で推移しています。 市外の幼稚園への通園者も増加しています。

市外幼稚園への通園者(概数)…平成25年度:幸田町240人、西 尾市140人、安城市100人、豊田市20人

他市町から市内幼稚園への通園者(概数)…平成25年度:90人

利用実績の推移

単位(人)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
幼稚園(市内)	5,369	5,390	5,476	5,568	5,655
認定こども園	49	53	52	51	53

各年度5月1日現在

### ①全市の量の見込みと確保の内容

単位(人)

全体	27 <b>f</b>	丰度	28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
土件	1号	2号								
量の見込み	<mark>4,352</mark>	<mark>1,522</mark>	<mark>4,344</mark>	<mark>1,519</mark>	<mark>4,303</mark>	<mark>1,505</mark>	<mark>4,231</mark>	<mark>1,480</mark>	<mark>4,189</mark>	<mark>1,465</mark>
(必要利用定員総数)		5,874		5,863		<mark>5,808</mark>		5,711		<mark>5,654</mark>
確保 幼稚園 の内容 認定こども園		6,263		6,263		6,183		6,093		6,003
-		389		400		375		382		349

2号は教育ニーズのみ。

## 提供体制の考え方

現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定です。

### <整備計画>

公立幼稚園 3 園 梅園・広幡幼稚園(中央区域)、矢作幼稚園(矢作区域) 平成 28 年度まで 520 人。平成 29 年度から幼保連携型認定こども園に移行 平成 31 年度までに段階的に定員を見直し

1号定員 29年度 440人、30年度 350人、31年度 260人 私立幼稚園 22園 5,673人 認定こども園 2園 70人

# (3)地域子育て支援拠点事業

### 事業概要

就園前の子どもを持つ子育て家庭の親子が気軽に 集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談でき る場を提供する事業です。

## ▶ 提供区域 ------



### 施設数

総合子育て支援センター(城北保育園に併設/1箇所)

地区子育て支援センター(福岡・島坂・藤川・岩松・豊富第二保育園に設置/5箇所)

つどいの広場(岡崎げんき館・北部・南部・西部・東部地域交流センター内 に設置/5箇所)

そのほか、子育て広場事業として、18 箇所の保育園の園庭や保育室の一部を開放

現況

「つどいの広場」の施設整備に伴い、利用実績は年々増加傾向にあります。

利用実績の推移 単位(人日)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
総合子育て支援センター 地区子育て支援センター	33,113 (6 箇所)	35,684 (6 箇所)	36,760 (6 箇所)	38,036 (6 箇所)	32,329 (6 箇所)
つないのは日	96,765	104,474	103,598	126,187	133,772
つどいの広場	(4 箇所)	(4 箇所)	(4 箇所)	(5 箇所)	(5 箇所)
<b>△</b> ±1	129,878	140,158	140,358	164,223	166,101
合計	(10 箇所)	(10 箇所)	(10 箇所)	(11 箇所)	(11 箇所)

## ①全市の量の見込みと確保の内容

単位(人日)

全体	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み <mark>(年間値)</mark>	208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
確保の内容 <mark>(年間値)</mark>	208,044 (12 箇所)	205,992 (12 箇所)	204,312 (12 箇所)	202,536 (12 箇所)	200,388 (12 箇所)
-	0	0	0	0	0

## 提供体制の考え方

平成27年度から、地域交流センター六ツ美分館に「つどいの広場」を開設します。

確保の内容は、総合子育て支援センター1箇所、地区子育て支援センター6箇所、つどいの広場6箇所により、今後の量の見込みに対する提供体制を確保します。

## (6)放課後児童健全育成事業

事業概要

保護者が就労しているなどの理由で、留守家庭となる<mark>小学生</mark>の居場所を確保するため、実施しています。

▶ 提供区域 -----

小学校区

施設数

児童育成センター(34箇所) 民間の児童クラブ(9箇所)

現況

平成 22 年4月に民営2クラブ、6月に公営1クラブが設置され、平成23 年度以降利用の増加につながっています。法改正により4年生以上の高学年も利用対象に明確に位置づけられたことや女性の就労状態の変化、子どもを取り巻く社会環境の安全面への不安などから、今後の利用の増加が見込まれます。

利用実績の推移 単位(人)

		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
年間延べ利	低学年	1,627	1,628	1,644	1,713	1,829
用者数	高学年	112	107	173	200	218
合計		1,739	1,735	1,817	1,913	2,047

### ①全市の量の見込みと確保の内容

単位(人)

全体		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	低学年	2,055	2,057	2,075	2,094	2,098
量の見込み	高学年	386	403	407	397	404
	合計	2,441	2,460	2,482	2,491	2,502
確保の内容		2,035	2,165	2,274	2,382	2,407
予定利用者数	效合計	(43箇所)	(47箇所)	(52箇所)	(57箇所)	(59箇所)
放課後子ども教室対応		41	44	67	66	95
( + ) -		365	251	141	43	0

## 提供体制の考え方

全市的に事業供給量が不足している現状です。待機児童が多く生じると予想される学区や 老朽化した施設を活用しているクラブのある学区など、合計 17 クラブの整備を予定していま す。

計画の中間年度である平成29年度までに低学年の受け入れ量を確保し、高学年については平成29年度までに量の見込みについて再検討し、平成31年度までに受け入れ量を確保できるように整備を進めていきます。

施設の不足する学区においては、暫定的に1つのクラブを2グループの支援の単位に分割するなどし、安全を確保できる範囲で定員増を図っていきます。

量の見込みの少ない小学校区や定員を少し上回る学区(15人程度)については、放課後子ども教室事業との連携により、児童の居場所の確保を進めていきます。

### <整備計画>

### 放課後児童クラブ

平成 27 年度: 竜美丘、井田、大樹寺、六ツ美西部、豊富学区 平成 28 年度: 梅園、岡崎、広幡、矢作南、六ツ美北部学区 成 29 年度: 男川、細川、矢作北、北野、六ツ美南部学区

平成30年度:羽根、常磐学区

### 放課後子ども教室

平成 26 年度までに 15 学区で開設済み。平成 31 年度までに全 47 学区で実施予定

平成 27 年度 6 学区(梅園、男川、岡崎、竜美丘、矢作北、六ツ美北部) 平成 28 年度 7 学区(美合、緑丘、羽根、広幡、岩津、小豆坂、北野)

平成29年度 5学区(三島、連尺、常磐南、秦梨、竜谷) 平成30年度 5学区(六名、大門、本宿、矢作西、上地)

平成31年度 9学区(山中、藤川、六ツ美中部、城南、豊富、形埜、宮崎、夏山、下山)

### 小学校区ごとの量の見込みと確保の内容

#### H27 H29 71 18 量の 低高 68 17 見込 93 89 85 合計 受入定員 65 100 100 28 11 15 量の 低高 70 16 61 17 59 11 合計 86 78 70 受入定員 75 (11) 75 (3) 75 量の 低 高 69 14 80 13 17 見込 83 93 95 受入定員 100 100 100 17 7 5 33 41 量の 低 高 29 6 見込 合計 35 40 48 島 受入定員 50 50 50 15 10 2 量の低高 41 9 39 9 35 8 見込 合計 50 48 43 受入定員 65 65 65 15 17 量の 低 高 53 52 10 52 見込 合計 64 63 62 受入定員 85 130 130 21 67 68 量の低高 136 19 131 18 145 21 井田 見込 166 155 149 合計 受入定員 150 (5) 150 36 5(0) 1 20 4 量の低高 17 4 13 3 見込 <u>合</u>計 24 21 16 受入定員 25 25 25 量の 低 高 8 1 12 1 12 2 見込 合計 13 14 空磐南 受入定員 0 0 (13) 0 (14) 9 13(0) 14 (0)

### 括弧内は放課後子ども教室対応数

				7	H2	9	H3	1	
	量の	低高	25	5	26	4	25	6	
藤	見込	合計	30	)	30	)	31		
Ш	受	入定員	50	)	50	)	50	)	
		-	20		20		19		
	量の	低高	21	5	24	4	24 5		
山	見込	合計	26	3	28		29	29	
中	受	入定員	50		50		50		
		-	24		22	)	21		
		低高	29	6	27	6	24	7	
本宿	見込	合計	35		33	}	31		
宿	受	受入定員		)	50	)	50	)	
		-	15		17		19		
	量の	低高	11	2	9	2	7	2	
奥殿	見込	合計	13		11		9		
殿	受入定員		0 ( 1	3)	0 (11)		0(9)		
		-	13 (		11 (	(0)	9 (		
恵	量の	低高	5	1	4	1	4	0	
	見込	合計	6		5		4		
田	受入定員		0(6	<b>6</b> )	0(5)		<mark>0 ( 4</mark>	)	
		-	6 (	0)	5 (		4 (		
		低高	73	14	72	17	67	16	
細		合計	87	7	89	)	83		
Ш	受	入定員	65	5	65	<u>,                                    </u>	100	0	
		-	2	22	2	24	17		
	量の	低高	50	9	52	10	49	12	
岩津	見込	合計	59	)	62		61		
津	受	入定員	65		65		65	,	
		-	6		3		4		
		低高	61	12	59	14	56	12	
樹	見込	合計	73		73		68		
大樹寺	受	入定員	45		95		95		
		-	2	28	22		27		
	量の	低高	62	14	70	14	74	16	
大門		合計	76		84		90		
P9	受	入定員	10			100 100			
<u> </u>		-	24		16	5	10	)	

					. —			
		H27	H29	H31			H27	H29
平		高 4 0	5 0	5 0	, <sub>/</sub>	量の低高	54 9	59 12
常磐東	見込合		5	5	<b>大</b> 作	見込合計	63	71
東	受入定員		0(5)	0(5)	作東	受入定員	80	80
	-	4(0)	5(0)	5(0)		-	17	9
		高 28 6	23 6	16 5	, <sub>–</sub>	量の低高	67 15	71 15
常	見込合		29	21	矢	見込合計	82	86
磐	受入定員		0	50	作北	受入定員	65	65
	-	34	29	29		-	17	21
<del>*</del>		高 81 17	81 18	90 18	, <sub>/</sub>	量の低高	30 7	31 8
竜美丘	見込合		99	108	<b>矢</b>	見込合計	37	39
丘	受入定員		100	100 (8)	作西	受入定員	50	50
	-	33	1	8(0)		-	13	11
		高 58 12	58 13	58 13	矢	量の低高	75 15	74 18
翌	見込合		71	71		見込合計	90	92
根	受入定員		95	130	南	受入定員	85	120
		25	24	59		-	5	28
_		高 80 10	83 12	98 12	.	量の低高	58 9	71 10
岡	見込合		95	110	北	見込 合計	67	81
崎	受入定員		100	100 (10)	野	受入定員	65	65
	-	25	5	10 (0)		-	2	16
		高 55 10	51 11	54 11	六ツ	量の低高	80 12	81 15
福岡	見込合		62	65	リツ	見込合計	92	96
Ш	受入定員		100	100	美北	受入定員	65	100
	- I G /r I	35	38	35	┩	- = // =	27	4
		高 32 6	42 6	53 8	六ツ	量の低高	27 4	21 6
城	見込合		48	61	リッチ	見込 合計	31	27
南	受入定員		50	50 (11)	美中	受入定員	50	50
		<u>12</u> 高 63 13	2	11 (0)			19 58 15	23
١.			65 14	65 13	六ツ	量の   低 高     見込   合計		57 13
上地	見込 合語 受入定員		79 130	78 130	リツ		73 65	70 65
715	文八正具	54	51	52	美南	受入定員	8	5
	量の 低 7	高 53 9	55 11	51 11	┨	- 量の 低 高	83 13	83 13
小	見込合		66	62	六ツ	星の   心   高	96	96
豆	受入定員	65	65 (1)	65	ツ	受入定員	65	100
坂	文八疋貞	3	1(0)	3	美西西	- 文八疋貝	31	4
	量の低す	高 84 12	86 12	83 11	+ -	量の低高	20 4	17 4
男	量の <u>  II  </u>   見込   合i		98	94	豊	見込 合計	24	21
川	受入定員		65	100	富富	受入定員	50	50
'''	- 文八疋兵	31	33	6	1   -	- 文八疋貞	26	29
-	量の低		28 6	27 7	1	量の低高	2 0	2 0
羊	見込合		34	34	夏	見込合計	2	2
美合	受入定員		50	50	一旦	受入定員	0	0
	-	10	16	16	1	-	2	2
	量の低		5 1	4 1	1	量の低高	4 0	3 0
4	見込合		6	5	宮	見込合計	4	3
生 平	受入定員		0(6)	0(5)	崎崎	受入定員	0	0
	-	7(0)	6(0)	5(0)	1	-	4	3
	量の低		4 1	3 1	1 🗀	量の低高	3 1	5 1
秦	見込合		5	4	形	見込合計	4	6
秦梨	受入定員		0(5)	0(4)	埜	受入定員	0	0
	-	4	5(0)	4(0)	1	-	4	6
	量の 低 7	高 51 11	55 10	51 11		量の低高	1 0	2 0
緑	見込合		65	62	下	見込合計	1	2
丘	受入定員		65	65	山山	受入定員	0	0
1	-	3	0	3	1	-	1	2
	量の 低 i		12 1	9 1		•	•	
竜	見込合		13	10	]			
苔	受入定員		0 (13)	0 (10)	1	<b>歩</b> の大田 大田 カロ	t放鲤绝子)	<mark>ごも教室対</mark> ル
	-	14	13 (0)	10 (0)	1	םן גאוווניםנ		
		1			4			

括弧内は放課後子ども教室対応人数

H31

60 15

80 15

85 16

77 14

3(0)

19 3 

57 12 

88 13

100 (1)

1 0 0(1) 1(0)

2(0) 5 1

0(6) 6(0)

0 ( 2 )

2(0)

# (8) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)

## 事業概要

保護者による養育が一時的に困難になった場合に、1週間以内(宿泊を伴う)を原則として児童 養護施設等で児童の養育・保護を提供する事業です。 ▶提供区域 ------

市全域

施設数

5箇所(市内3箇所、市外2箇所)

現況

利用日数及び利用者数は、年度によって異なっている状況です。臨時的需要の事業であるものの、一定の利用ニーズがあります。

利用実績の推移

単位(人日)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
年間延べ利用者数	46	61	91	57	91

### ①全市の量の見込みと確保の内容

単位(人日)

全体	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み	91	91	91	91	90
確保の内容	91	91	91	91	90
-	0	0	0	0	0

## 提供体制の考え方

現在の提供体制で、今後の量の見込みに対する提供体制は十分に確保できるものとします。

保護者や子どもの状況やニーズを面接により把握し、子どもによって最善のサービスの提供に努めます。

## 4 教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保

### (1)認定こども園の普及について

本市には、平成 26 年度現在 2 園の認定こども園があります。また、平成 29 年度までに公立幼稚園 3 園を幼保連携型認定こども園に移行する予定です。

幼保連携型認定こども園は、就学前の教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育園の両方の良さをあわせ持つ施設です。保護者が働いている、いないに関わらず利用でき、保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが大きな特長です。また、既存の幼稚園の認定こども園化によって保育ニーズへの対応が可能になり、既存の保育所の認定こども園化によっては幼稚園不在地域への対応が可能になるといったメリットがあります。

こうしたことから、公立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を進めるとともに、私 立幼稚園から認定こども園への移行希望があれば、移行を支援し、認可していくことを基本 として、教育・保育へのニーズに対応していきます。

一方、保育所については、現在、額田区域において認定こども園を2園設置していますが、公立、私立とも、現状において3歳未満児を中心に、保育ニーズが高くなっている状況においては、当面の間、保育を必要とする子どもを対象とした施設として継続していく必要があります。ただし、現在、保育所型認定こども園として運営している豊富保育園、形埜保育園の幼保連携型認定こども園への移行、あるいは、障がいのあるお子さんの幼児教育への対応として、必要に応じて、一部の保育園の幼保連携型認定こども園化のあり方等について研究していきます。

### (2)質の高い教育・保育の提供について

就学前の子どもに関する質の高い教育・保育の総合的な提供を推進するため、先進地の事例研究や幼稚園教諭と保育士の合同研修のあり方等の検討を進めていきます。

関係機関、関係団体等との連携を図り、職員の意識向上、人材の確保・育成、適正配置に 努め、教育・保育サービスの拡充に対応しつつ、質の向上を図ります。

### (3)地域子ども・子育て支援事業の提供について

保護者が子育てに感じる不安や孤立感、負担感を軽減できるよう、地域で子育てを支えるネットワークづくりを進めていきます。妊娠・出産期からの切れ目ない支援に配慮し、教育・保育施設を利用する家庭のみならず、在宅の子育て家庭や社会的養護を必要とする家庭など、すべての子育て家庭を対象に、ニーズに合わせた多様な支援を進めていきます。

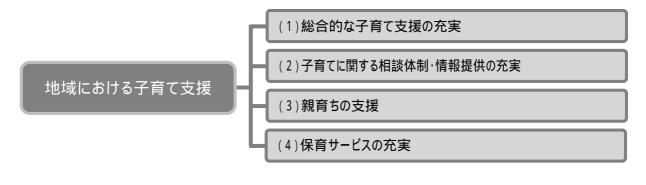
### (4)幼保小連携の取り組みの推進について

幼稚園・保育園・小学校が連携し、幼児・児童の相互訪問等を通じて、幼児・児童の豊かな社会性を育むとともに、幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行・接続を図ります。また、岡崎市幼保小連絡協議会を定期的に開催し、関係者相互の交流を通じて連携を進めていきます。

# 基本施策1 地域における子育て支援

## 施策体系

推進施策



関連計画 市民協働推進計画 地域福祉計画

## 施策の背景

これまでの子どもを対象とする政策は、「共働き世帯」や「ひとり親世帯」への支援、「虐待にあう子ども」や「障がい<mark>のある</mark>子ども」への社会的養護など、支援の必要性が明確な社会福祉施策として実施されてきました。次世代育成支援対策として、すべての子どもと子育て家庭を対象とする「子育て支援」が必要とされるようになったのには、子どもが祖父母や近隣住民など地域社会と関わりながら成長していた生活環境が失われていく中、保護者への子育ての負担が大きくなっている背景があります。

家庭は子育てや教育の出発点となる場所であり、子どもの健やかな成長のためには、親自身が子どもの育て方やしつけ方を学ぶための環境は重要です。平成 25 年度に実施した「岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書」(以下「アンケート」という。)によると、子育てに関して気軽に相談できる先について、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「祖父母などの親族」「友人や知人」といった身近な人に相談する割合が高くなっています。また、妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことについて、「子どもの育て方やしつけ方」が最も高くなっており(15 頁参照)、身近な地域における専門的な支援も含めたよりきめ細やかな相談、情報提供など、子どもに対する愛情と、子育てに関する正しい知識を持ちながら子育てできる体制の整備が求められています。

市内の豊かな歴史や文化・教育資産、自然環境などを通じて形成されてきた地域社会という財産を活かし、行政や事業者はもとより、様々な担い手により子どもの育ちや子育て家庭を支援していく必要があります。

## 基本施策1に関連する 業務活動

No	取り組み	事業概要			
1	家庭児童相談	児童問題に関するあらゆる相談に対応 関と連携し、子どもとその家族に対す			
1	【家庭児童課】	参考指標	現状値	方向性	
		家庭児童相談受付件数	507件	継続実施	
	教育相談センター	小学生・中学生の学習・学校生活、家	庭環境に関する相談を	:行います。	
2	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性	
		そよかぜ相談室 相談件数	2,576 件	継続実施	
	地域生涯学習講座	市民自身の企画により実施される生涯 者を対象とする子育てに関する講座を 講座の開催を支援します。			
3	開催支援	参考指標	現状値	方向性	
	【社会教育課】	開催講座数	52 件	増加	
		参加者数	6,423人	増加	
		あいさつ運動や「家庭の日」などの普	_ 及啓発 <mark>や子育て講座の</mark>	開催、家庭教育	
	家庭教育推進	推進地区事業など、学校や地域との連	携により家庭教育を推	進します。	
4	<b>家庭教育推進</b> 【社会教育課】	参考指標	現状値	方向性	
	【社会教育味】	わいわい子育て講座参加率	83.3%	維持	
		家庭の日啓発ポスター応募数	884件	維持	
F	市民活動支援	市民協働を推進し、市民力を活かした う、市民活動を支援します。	<b>こより豊かな地域社会</b>	を形成できるよ	
5	【文化活動推進課】	参考指標	現状値	方向性	
		市民活動団体登録数	564 団体	維持	
	保育園地域活動	世代間交流や異年齢児交流、育児講座	などを開催します。		
6	実施	参考指標	現状値	方向性	
	【保育課】	公・私立保育園実施園数	31 箇所	維持	
7	民生委員児童委員 協議会関連	児童などの福祉に関する相談や援助、 を含めた地域活動を行います。	見守り活動や子育て支	援サークル活動	
	【生活福祉課】	参考指標	現状値	方向性	
		委員一人あたり活動日数	147.3 日	維持	
	<b>伊</b> 唐梯准並及 <b></b> 023	健康推進員による保健活動の周知、疾 ます。	病予防及び健康保持増	進事業を実施し	
8	健康増進普及啓発	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	健康増進に関する普及啓発の回数	583回	維持	
		実施人数	20,207人	維持	

## 健康おかざき 21 計画 健やか親子分野の推進 第 1 次計画(平成 16 年度~平成 25 年度)実施状況

11L>1+ 1+ 1=				
推進指標	目標	H14 年度	H18 年度	H24 年度
妊産婦死亡数	減少	2人	2人	0人
周産期死亡率	減少	3.4%	3.1%	2.1%
妊娠 11 週以下での妊娠届出率	増加	67.8%	64.8%	93.9%
母性健康管理指導事項カードを知っている(妊婦)	増加	4.2%	15.0%	19.0%
妊娠中の飲酒	なくす	15.8%	8.1%	1.1%
産後2週間のうつ症状	減少	26.9%	29.9%	21.3%
子育てに迷うことが多い	減少	13.1%	10.9%	5.9%
子どもを虐待していると思う	減少	5.4%	6.1%	2.4%
ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある	増加	48.8%	51.7%	65.7%
かかりつけ小児科医を持っている	増加	56.6%	82.9%	92.9%
休日·夜間の小児救急医療機関を知っている	増加	75.1%	83.7%	89.1%
事故防止対策を実施している(誤飲防止)	増加	38.2%	54.4%	68.1%
育児に参加する父親の割合	増加	56.0%	54.4%	67.4%
出産後1か月の母乳育児割合	増加	44.0%	44.5%	50.4%

## 第1次計画の最終評価を踏まえた第2次計画(平成26年度~平成34年度)の取り組み

## <mark>< めざす健康市民の姿 ></mark>



いのち

# 生命の大切さを理解し、行動する

子育てを家庭や地域でともに考える

<市民みんなの取組み>

自分や生命を大切にする心を育てる

性に関する正しい知識を身につける

早い時期からかかりつけ小児科医をつくる

〇小児保健の充実

子育て家庭での事故防止をすすめる

<市や団体の取り組み>

- ○生命の教育の充実
- ○性に関する正しい知識の啓発

<mark>目標·健康水準</mark>	<mark>指標</mark>	<mark>現状</mark>	<mark>目標値</mark>
<b>となった切さた四級オストが始らて</b>	<mark>性感染症の知識(高校生)</mark>	<mark>44.9%</mark>	<mark>70%以上</mark>
生命の大切さを理解する人が増える	<mark>かかりつけ小児科医を持っている</mark>	<mark>92.9%</mark>	<mark>97%以上</mark>
アン・アムかフ在てがった。」 が増えて	小児救急医療機関を知っている	<mark>89.1%</mark>	<mark>97%以上</mark>
安心・安全な子育てができる人が増える	乳児期のうつぶせ寝(4 か月)	<mark>22.7%</mark>	<mark>減少</mark>
	<mark>性器クラミジア</mark>	<mark>16 件</mark>	<mark>減少</mark>
40 特化の供用効度需要(完上担件)	<mark>淋病感染症</mark>	<mark>0 件</mark>	<mark>維持</mark>
10 歳代の性感染症罹患(定点報告) 	<mark>尖圭コンジローマ</mark>	<mark>3 件</mark>	<mark>減少</mark>
	<mark>性器ヘルペス</mark>	<mark>2 件</mark>	<mark>減少</mark>

資料 健康増進課

# (2)食育の推進

児童生徒への給食は、食材や調理方法などを工夫し、栄養のある給食を提供します。また、食材に岡崎市産の米や野菜、果物、味噌を使用するなど、地産地消を推進します。

保育園での行事食や郷土料理、小中学校で実施する「リクエストランチ」や「学校給食メニューコンクール」などの食べて楽しい給食の提供や、保育園、幼稚園、学校における農業体験など、食への関心を高める取り組みを進めます。



平成 25 年度学校給食メニューコンクール最優秀賞 「なすたっぷりのドライカレーwith 八丁みそ」 (考案者:本宿小学校 古田 ひよりさん 古田 るりさん)

## (3)思春期保健対策の充実

保健・医療・福祉・教育の関係者の連携を一層強化し、自分や生命を大切にする心を育てる教育を推進するとともに、喫煙、飲酒、薬物など健康を脅かす問題に関する個々の情報選択能力の向上を図ります。

生命の教育とあわせて、年代に合わせた性の正しい知識を伝えていくことにも努め、 性感染症や望まない妊娠を防ぐために、関連機関との連携を強化していきます。

次世代の親となる子どもには、家庭科の授業や職場体験などを通じて乳幼児とふれあう機会を提供し、生命の大切さ、家庭の役割等への理解を深めるなど、子どもや家庭の大切さを知るための機会を拡充します。

# (4) 小児医療の充実

「子どもの急病ガイドブック」の配布、母子健康手帳における各種相談窓口一覧表の掲載、父親の育児参加を促す「育児のしおり」における事故防止の啓発や応急手当など情報の充実、子どもへの感染防止と愛知県の夜間小児救急電話相談事業「小児救急電話相談 #8000」の周知啓発など、小児医療の正しい知識と受診に向けた取り組みを進めます。

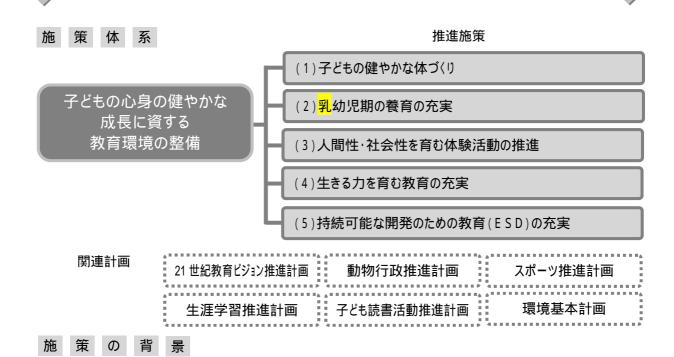
かかりつけ小児科の普及を図るとともに、引き続き安心して受診できる環境づくりを関係機関との連携により 進めます。



## 基本施策2に関連する 業務活動

No	取り組み	事業概要			
	妊婦・乳幼児	母子保健法などに基づき、母子の健康 診査を実施します。	の保持を目的に、妊婦	、乳幼児の健康	
1	健康診査	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	母子健康手帳の早期(妊娠週数11 週までの)交付率	94.1%	維持	
		3歳児健康診査の受診率	96%	維持	
	妊産婦・乳幼児	妊娠期から出産後の育児支援まで相談 未婚、多胎、多産、遅い届出等)につ す。			
2	保健指導	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	土曜窓口講座来所者数	613人	維持	
		ハイリスク妊婦の家庭訪問指導件数	374件	継続実施	
	助産扶助	経済的な理由により入院助産を受ける 設において入院出産できるよう援助を		に対し、助産施	
3	【家庭児童課】	参考指標	現状値	方向性	
		助産援助数	5 件	継続実施	
		所得状況により、一般・特定不妊治療の治療費の一部を助成します。			
4	不妊対策補助	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	特定不妊治療費補助成果	38.7%	継続実施	
		一般不妊治療費補助成果	19.0%	継続実施	
5	食育推進	健康・食育だより、食育ポスターコン 普及啓発を進めます。	クール、食育教室など	により、食育の	
3	【 <mark>健康増進課</mark> 】	参考指標	現状値	方向性	
		健康・食育だより発行回数	4 回	維持	
	学校給食の提供	食教育の充実をめざし、児童生徒が身 切な時期に栄養のバランスのとれた学		きく成長する大	
6	【給食管理室】	参考指標	現状値	方向性	
		延べ給食数	6,346,026 食	継続実施	
	薬物乱用防止啓発	薬物乱用防止教室やその他の講習会、 ついての知識を周知するとともに、薬			
7	【生活衛生課】	参考指標	現状値	方向性	
	【土/日附土味】	薬物乱用防止教室開催回数	25 回	増加	
		街頭キャンペーン啓発資材配布数	8,085 個	増加	

# 基本施策3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備



近年、子どもの体力は低下傾向にあり、生活習慣の乱れや肥満の増加等の課題が指摘されています。健康的な体づくりを進めるためには、子どもが生涯にわたって積極的にスポーツに親しむことができる環境づくりと、適切な生活習慣を身に付けるための健康教育の推進が必要です。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期です。生活の中での自分の 興味や欲求に基づいた直接的・具体的な体験を通じて、豊かな感性、好奇心、探究心や 思考力といった、その後の生活や学びの基礎が培われます。また、ものや人との関わり における自己表出を通じて、自我や主体性が芽生える時期でもあります。次代を担う子 どもたちが人間として心豊かにたくましく生きる力を身に付けられるよう、幼児期の教 育の重要性を認識した取り組みが必要です。

都市化や少子化、地域社会における人間関係の希薄化などが進む中、子どもの豊かな成長に欠かせない、多くの人や社会、自然などに直接ふれあう体験の機会が乏しくなっています。一方、情報化社会の中で、居ながらにして即座に世界中のニュースが分かるようになったように「間接体験」は大きく膨らんできており、コンピュータを使ったシミュレーションをはじめとする「疑似体験」も高度に発達しています。このような中、子どもたちが自ら学び、考え、行動できる、生きる力を育む教育が求められています。自然や人とのふれあいを大切にし、豊かな人間性や、真に豊かな調和のある社会をめざした生き方を一人ひとりが身に付けられるよう、学校、家庭、地域が一体となり次代の担い手の育成に取り組んでいく必要があります。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。持続可能な開発のための教育(ESD)とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近な取り組みから課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことをめざす学習や活動です。本市においては、「生きる力を育む」という基本理念のもと、ESDの目標を踏まえ、「環境教育」「英語教育」「岡崎の心の醸成」の「三本柱」を立て、教育を推進しています。

# (2)乳幼児期の養育の充実

各幼稚園・保育園をとりまく地域の自然・社会環境や建学の精神、保育理念などに基づく特色を生かし、子どもが興味・関心を持ち、子ども自身の主体的な取り組みを引き出せる教育、保育を展開します。

乳幼児期の遊びは発達の基礎を築き、精神的な成長を促すものであることから、遊びの実践について幼稚園教諭・保育士の研修を充実し、教育・保育の質の向上を図ります。

子どもの生きる力<mark>の基礎を培い、またその力を育み、</mark>健やかな育ちを支えることを目的として、市内の幼稚園、保育園及び小学校が、各々の教育の独自性と連続性を<mark>理解</mark>し合いながら、交流や連携を図ります。

岡崎市幼保小連絡協議会による活動

- ・各幼稚園・保育園・小学校の交流や連携の推進
- ・各幼稚園・保育園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- ・講演会・研修会等の啓発活動
- ・関係諸機関との連携



# (3)人間性・社会性を育む体験活動の推進

ボランティアなどの地域貢献活動や芸術・文化・歴史などに触れる機会、野外での自然体験、動物とふれあう機会など、多様な体験活動の充実を図り、広い視野をもち、豊かな人間性や社会性を養う取り組みを進めます。

乳児期に初めての絵本を手渡す「ブックスタート」、中央図書館や市民センター図書<mark>室</mark>、幼稚園・保育園などでの読み聞かせ活動、小中学校での読書推進の取り組みなど、「子ども読書推進計画」に基づき、本に親しむ取り組みを進めていきます。

岡崎こどもまつり





動物総合センター なかよし教室・ふれあい教室





# (4)生きる力を育む教育の充実

「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに、思考力・判断力・ 表現力などを養う教育を進めていきます。

学ぶ喜び・確かな学力の向上や、学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進め、魅力ある教育活動を実践できるよう取り組みます。

スクールサポートボランティアの登録制度などにより、地域人材の活用を図り、地域 ぐるみで連携した教育環境の整備を進めます。

# (5)持続可能な開発のための教育(ESD)の充実

「英語が話せるおかざきっ子」をめざし英語活動を推進するとともに、英語学習を通 じて国際理解教育を推進していきます。

環境教育をはじめ、社会とのつながりについて深く考える機会をもち、国際社会の一員として生きていく子どもたちに共存・共生の理念を伝える取り組みを進めます。

岡崎にかかわる人・もの・ことを教材化し、岡崎の心の醸成の学習を推進することにより、岡崎についての理解を深め、郷土への愛着や誇りを育みます。また、歴史や先人の生き方に触れ、高い志を持った子どもを育てます。

ホタル学校での環境教室



総合検査センター子ども教室



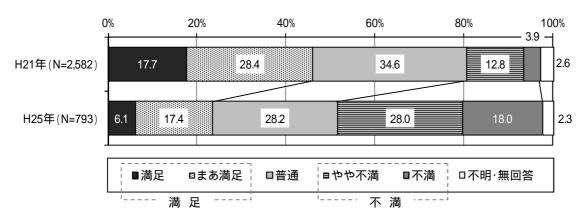
## 基本施策3に関連する 業務活動

スポーツ大会開催	No	取り組み	事業概要			
製売	1	スポーツ大会開催	にスポーツに親しむ機会を提供し、競			
動物愛護啓発		【市民スポーツ課】	参考指標	現状値	方向性	
2         動物愛護啓発 【動物総合センター】         参考指標 ふれあい・なかよし教室等開催クラ 方7 クラス         規状値 かれあい・なかよし教室等開催クラ 方7 クラス         施持 地持 かになかまし教室等開催クラ 方7 クラス           4         生徒市議会 【学校指導課】         現状値 参加学校数         方向性 参加学校数           2 0 校 維持         維持           子ども会事業補助 【こども育成課】         そども会活動の活性化を促すことにより、子どもが活動を通じて社会の一員として必要な知識、技能、態度を学び、かつ腱全な仲間づくりを進め、心身の成長発達に大切な経験を得る機会を提供します。           少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】         一次年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。           5 世長のこともまつり開催 【こどもまつり開催 【こどもまつり開催 【こどもまつり開催 【こども育成課】         少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。           6 ごどもまつり開催 【こどもまつり開催 【こどもまつり開催 【こどもまつり開催 【のかた中心を加きないの参加者数 を参考指標         現状値 方向性 イベントへの参加者数 60,000人 維持         方向性 イベントへの参加者数 60,000人 維持           プックスタート 実施 【中央図書館】         参考指標 現状値 方向性 ブックスタート実施を変能します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。         カ向性 イベントへの育成を図ります。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなながあるが表します。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。また。さらなな体制を変します。また。また。また。また。また。まため、ボラの性、大力を関すると同様を図ります。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。			駅伝、一日スポーツ参加者数	2,608人	維持	
1		動物愛護啓発		いを通して命の大切さ	を感じ学ぶこと	
本表の	2			現状値	方向性	
4         生徒市議会 【学校指導課】         参考指標 参加学校数         現状値 20 校         方向性 維持           子ども会事業補助 【こども育成課】         子ども会活動の活性化を促すことにより、子どもが活動を通じて社会の一員として必要な知識、技能、態度を学び、かつ健全な仲間づくりを進め、心身の成長発達に大切な経験を得る機会を提供します。         カ向性 同崎市地域子ども会実施事業数         現状値 所向性 日の崎市地域子ども会実施事業数         方向性 経持 子ども会活動団体数           少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】         少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。         銀状値 防火作品応募数         カ向性 防火作品応募数           こどもまつり開催 【こども育成課】         を考指標 イベントへの参加者数         現状値 イベントへの参加者数         方向性 イベントへの参加者数           「中央図書館】         総本を通して親子や自然とのふれあいを深めるイベントを開催します。           「中央図書館】         参考指標 ブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。         現状値 ブックスタート実施者数         カ向性 ブックスタート実施者数         現状値 方向性           「中央図書館】         学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。         学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。           8         現状値 方向性         方向性				57 クラス	維持	
		件 仕 士 羊 人	中学生の質問に対し、市長や担当部長	が答弁する模擬市議会	を実施します。	
参加学校数	3		参考指標	現状値	方向性	
4       子ども会事業補助 【こども育成課】       として必要な知識、技能、態度を学び、かつ健全な仲間づくりを進め、心身の成長発達に大切な経験を得る機会を提供します。         参考指標 阿崎市地域子ども会実施事業数 指導・育成 【消防本部予防課】       11.687 件 維持 子ども会活動団体数       維持         少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】       少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。         こどもまつり開催 【こども育成課】       現状値 防火作品応募数       方向性 他します。         ごどもまつり開催 【こども育成課】       参考指標 イベントへの参加者数       現状値 60,000人       方向性 イベントへの参加者数         ブックスタート 実施 【中央図書館】       絵本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。       参考指標 ブックスタート実施者数       現状値 方向性         プックスタート実施者数       3,321人       維持         V党図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。       学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。		【字仪拍导脒】	参加学校数	20 校	維持	
「こども育成課		子ども全事業補助	として必要な知識、技能、態度を学び	、かつ健全な仲間づく		
プビも会活動団体数         364 団体         維持           少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】         少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。           6         現状値 防火作品応募数         現状値 防火作品応募数         方向性 施せ持           6         ごどもまつり開催 【こども育成課】         遊びや創作、体験等を通じて親子や自然とのふれあいを深めるイベントを開催します。           イベントへの参加者数         60,000人         維持           メックスタート 実施 【中央図書館】         絵本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。         大め、ボランティアの育成を図ります。           参考指標 ブックスタート実施者数         現状値 カウ性         方向性           プックスタート実施者数         3,321人         維持           学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。         現状値         方向性           8         現状値         方向性	4	【こども育成課】	参考指標	現状値	方向性	
少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】       少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。         6       近洋防本部予防課】       短びや創作、体験等を通じて親子や自然とのふれあいを深めるイベントを開催します。         7       参考指標 【こども育成課】       現状値 イベントへの参加者数       方向性 イベントへの参加者数         がクスタート実施 【中央図書館】       総本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。         参考指標 プックスタート実施者数       現状値 カ向性         ブックスタート実施者数       3,321 人         提売       建売         が考指標       現状値 りな学習の時間等の教育活動を支援します。         8       現状値 りな学習の時間等の教育活動を支援します。         8       現状値 方向性			岡崎市地域子ども会実施事業数	11,687件	維持	
少年消防クラブ 指導・育成 【消防本部予防課】     す。       6     293 件 防火作品応募数     293 件 維持       ごどもまつり開催 【こども育成課】     遊びや創作、体験等を通じて親子や自然とのふれあいを深めるイベントを開催します。       プックスタート 実施 【中央図書館】     参考指標 イベントへの参加者数     現状値 60,000 人 維持       総本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。       参考指標 「カー性 ブックスタート実施者数     現状値 方向性 ブックスタート実施者数     方向性 ブックスタート実施者数       児童読書活動支援 【中央図書館】     学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。       8     現状値 りな学習の時間等の教育活動を支援します。       9     現状値 方向性       7     参考指標     現状値 方向性			子ども会活動団体数	364 団体	維持	
(注)	ר			行い、防火・防災思想	の啓蒙を図りま	
防火作品応募数       293件       維持         6       ごどもまつり開催 【こども育成課】       参考指標 現状値 方向性 イベントへの参加者数 60,000人 維持         7	5		参考指標	現状値	方向性	
6     こどもまつり開催 【こども育成課】     催します。       プックスタート 実施 【中央図書館】     絵本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。       プックスタート実施 参考指標 プックスタート実施者数     現状値 方向性 ブックスタート実施者数     方向性 ブックスタート実施者数       児童読書活動支援 (中央図書館】     学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。       8     現状値 りな学習の時間等の教育活動を支援します。       8     現状値 りな学習の時間等の教育活動を支援します。			防火作品応募数	293件	維持	
【こども育成課】   参考指標 現状値 方向性		こどもまつり開催			るイベントを開	
	6	【こども育成課】	参考指標	現状値	方向性	
ブックスタート       手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。         【中央図書館】       参考指標       現状値       方向性         ブックスタート実施者数       3,321 人       維持         学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。         8       現状値       方向性			イベントへの参加者数	60,000人	維持	
【中央図書館】     参考指標     現状値     方向性       ブックスタート実施者数     3,321 人     維持       学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。       【中央図書館】     参考指標     現状値     方向性	7		手渡すブックスタート事業を実施しま	す。また、さらなる体		
プックスタート実施者数 3,321人 維持 学校図書館にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、 児童の読書活動で推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。			参考指標	現状値	方向性	
児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。   現状値 方向性			ブックスタート実施者数	3,321 人	維持	
多亏拍标	8		児童の読書活動の推進及び朝の読書	寺間や各学校における		
資料貸出点数 <u>57,555件</u> 增加		【中央図書館】	参考指標	現状値	方向性	
			資料貸出点数	<mark>57,555件</mark>	増加	

No	取り組み	事業概要			
	親子造形センター	工作教室、粘土教室、絵画教室、 E B	アート教室の造形教室	を開催します。	
9	【地域文化広場】	参考指標	現状値	方向性	
	【地域又化四场】	親子造形センター利用者数	72,830 人	維持	
	おかざき自然	おかざき自然体験の森のフィールドを 実施します。	利用して、各種自然体	験プログラムを	
10	体験の森	参考指標	現状値	方向性	
	【環境保全課】	おかざき自然体験の森施設入場者数	16,473人	維持	
		プログラム参加人数	2,183人	維持	
	少年自然の家	小学校・中学校の教育計画に基づく流 に、自然の中で集団宿泊生活の機会を		少年団体を対象	
11	【少年自然の家】	参考指標	現状値	方向性	
	【少年日然の家】	施設利用学校数	67 校	維持	
		利用者数	22,725 人	維持	
12	姉妹友好都市交流	姉妹都市(アメリカ・ニューポートビー 友好都市(中国・呼和浩特市)の中学			
12	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性	
		姉妹友好都市使節団員数	14人	増加	
	外国語指導助手	外国語指導助手、小学校英語指導補助者を活用し、小中学生の実践的な語学 力の向上と国際意識の高揚を図ります。			
13	招致	参考指標	現状値	方向性	
	【学校指導課】	配置校数	67 校	維持	
		配置人数	<mark>20 人</mark>	維持	
	特色ある学校	特色ある学校づくり、開かれた学校づ めざす各学校の創意工夫ある教育活動		頼された学校を	
14	づくり推進	参考指標	現状値	方向性	
	【学校指導課】	事業実施校	67 校	維持	
15	科学技術・理科教育 振興	小中学校理科作品展、自然科学研究機 生徒の科学への探究心を満たす機会を ルアップを図ります。			
	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性	
	F 1 V1H→WV	理科作品展参加人数	18,822人	維持	
	スーパーサイエンス	市内小中学校から、スーパーサイエン 構や特色ある理科教育を推進する高等 児童生徒の科学的リテラシー向上をめ	学校、企業、地域人材と		
16	スクール推進	参考指標	現状値	方向性	
	【学校指導課】	連携機関数	33件	維持	
		実施した授業・行事回数	31回	維持	

No	取り組み	事業概要			
	タブレット型	指導用ICT機器(タブレット型情報 的な学習への取り組み、基礎基本の定	•		
17	情報端末導入	参考指標	現状値	方向性	
	【学校指導課】	実施した授業回数	24回	増加	
		授業を受けた児童生徒数	1,396人	増加	
	ホタル学校	環境保全意識の高揚を図り、一人ひと とができるよう、ホタルを通じた環境			
18	管理運営	参考指標	現状値	方向性	
	【環境保全課】	ホタル学校入場者数	10,062人	維持	
		イベント開催回数	44回	維持	
	自然共生普及啓発	地域の中で、地球環境を守るためのさ ブ」への登録促進を図ります。また、 供を実施し活動を支援します。			
19	【環境保全課】	参考指標	現状値	方向性	
		自然観察会等の開催数	125 回	維持	
		自然観察会等の参加者数	4,303人	維持	
20	地球温暖化 防止活動支援	自ら地球温暖化防止の重要性を理解し、防止活動に取り組めるように、地域協議会「岡崎市地球温暖化防止隊」による学校、地域への出前講座、夏休み親子教室、わくわく省エネ体験教室の開催等の地球温暖化防止啓発活動を行います。			
	【環境総務課】	参考指標	現状値	方向性	
		地球温暖化防止活動参加者数	1,205 人	維持	
21	ESD研究推進	小学校1年生から中学校3年生までの 環境学習プログラム」に基づく環境学 SD)の研究を推進し、児童生徒の未	習をはじめとした「岡山	崎の三本柱」( E	
	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性	
		環境プログラム実施校数	67 校	維持	
22	水に関する 市民啓発	小学生社会科見学や親子水道教室 <mark>など</mark> 全性や水源保全活動の重要性について			
	【上下水道局総務課】	参考指標	現状値	方向性	
		浄水場見学人数	3,948人	維持	
	総合検査センター	「夏休みこども教室」「施設見学会(た 境、生活衛生、繊維の検査に関する周 の向上を図ります。	•		
23	見学会等開催	参考指標	現状値	方向性	
	【総合検査センター】	見学会等参加者数	526人	維持	
		参加者満足度	92.3%	維持	

### 公園など身近な子どもの遊び場について



資料:岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書

### 子どもを安心して産み育てられる環境として市に期待する施策

	就学前児童		就学児童	
	H21	H25	H21	H25
子育てにかかる経済的な負担の援助	73.6%	72.5%	66.2%	72.9%
夜間や休日における小児科や医療体制の整備	59.6%	58.2%	63.6%	60.7%
いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実	43.0%	44.8%	43.6%	59.0%
夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実	26.6%	32.8%	29.0%	31.1%
育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の 充実	37.9%	31.2%	21.5%	24.1%
ベビーベッドの設置やベビーカーを押して歩きやすい歩道など、施設や道 路の整備	25.0%	27.5%	17.8%	22.6%
妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備	26.1%	26.7%	12.0%	19.9%
子育てに関する相談・情報・手続きなどの窓口の一本化	19.1%	23.7%	16.8%	17.3%
乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいように会場の保育機能 の整備	18.7%	19.6%	11.9%	12.9%
子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備	12.9%	15.3%	10.3%	10.0%

資料:岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書

## 推進施策

# (1)子どもの居場所づくり

学区こどもの家を就学前児童、小学生の自由に遊べる場としてだけでなく、子育てサークルの活動場所として利用を促し、地域の子育ての拠点施設としての活用も促進します。

児童遊園やこども広場の維持管理を行い、屋外でのびのびと過ごすことができる場所や<mark>額田図書館など</mark>子どもの居場所として安全な環境を提供します。

国の示す放課後子ども総合プランに準じた、<mark>放課後児童健全育成事業と放課後子ども</mark> 教室事業とのさらなる連携を図り、小学生の安全・安心な居場所の確保を図ります。

# 基本施策6 子どもの安全の確保

## 施策体系



子どもの安全の確保

(1)子どもの交通安全の確保

(2)子どもを犯罪などの被害から守るための環境づくり

(3)いじめや不登校などの児童生徒への対策の充実

関連計画

交通安全計画

防犯活動行動計画

21 世紀教育ビジョン推進計画

## 施策の背景

子どもが健全に育っていくためには、子どもの安全が保障されていることが前提となります。 風水害や地震など、いざというときに子どもを守るためのリスク管理、対応として本市では、岡崎市地域防災計画による災害時要援護者等への支援、子育てや教育の現場における業務継続計画の策定、訓練など防災体制の充実に努めています。

一方、日常生活における事故や危害を防ぐ防犯対策も子どもの健やかな育ちを保障するには欠くことのできない重要な取り組みです。 一部のモラルのない自己中心的な考えで行動する者による犯罪は、子どもや女性、高齢者などの弱者が被害者となってしまうことが多く、社会的な問題になっています。

愛知県は、車の保有台数、道路の総距離、運転免許保有人口など統計的にも自家用車依存度が高く、悲惨な交通事故の発生が非常に多い状況です。本市においても安全であるはずの横断歩道上で子どもが巻き込まれてしまう痛ましい事故が発生しており、市民一人ひとりが交通安全の確保を自らの課題として捉える意識を浸透させる取り組みは非常に重要です。

子どもの心に深い傷を負わせるいじめは、誰にでも起こりうることを十分認識し、「人間として絶対に許されない」行為であるという前提のもと、家庭・学校・地域社会などすべての関係者が一体となって、児童生徒一人ひとりに応じた支援を積極的に進める必要があります。

## (2)子どもを犯罪などの被害から守るための環境づくり

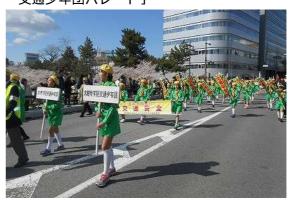
防犯ボランティア等によるパトロール活動や「子ども 110 番の家」の活動に対する 支援、電子メールによる不審者情報等の迅速な発信及び共有を図ります。

学校等と連携し、被害防止教育、スクールサポーターの派遣を実施するとともに、子どもたちが安心して教育を受けるために、学校安全ボランティア等を効果的に活用する 仕組みの整備を進め、地域社会全体で、子どもの安全を見守る体制の充実を図ります。

交通安全啓発活動 「ちびっ子警察官(園児)」



「交通少年団パレード」



インターネットに起因する子どもの犯罪被害等を防止するため、携帯端末に対するフィルタリング等の必要性について、保護者に対して啓発活動を実施します。また、子どもに対する情報モラル教育の取り組みを推進します。

# (3) いじめや不登校などの児童生徒への対策の充実

いじめや不登校に悩む児童生徒に対し、教育相談センターへの臨床心理士の配置や、 各学校へのスクールカウンセラーの配置などの相談体制を維持し、学校復帰へのきめ 細やかな支援を行います。

少年非行の早期防止のため、日中・夜間の巡回を行い、必要な指導・善導を行います。

### いじめ・不登校対策

いじめ・不登校 対策協議会	いじめ・不登校に関する事業の連携を図り、より一層きめ細やかな支援を行う ことを目的に設置。 臨床心理士や専門機関の助言を得ていじめ・不登校対策事業を推進する。
いじめ·不登校 相談室事業	臨床心理士の有資格者などを登校支援員として活用し、児童生徒・保護者へのカウンセリングと、担任や関係教師への指導助言等を行うことにより児童生徒へ支援を行う。
キッズ岡崎 こころの電話	悩みを抱える子どもや保護者を対象とした電話相談。 小・中学校1年生に電話番号の入ったシールを配布し、制度の利用促進を図る。
スクール カウンセラー	小中学校にスクールカウンセラーを配置し、カウンセラーと教師間の情報交換・共通理解により児童生徒・保護者の相談活動の充実を図る。
<mark>いじめ防止</mark> <mark>基本方針</mark>	各小中学校において「いじめ防止基本方針」を定め、いじめの未然防止と早期 発見に向けた取り組みを計画的に進めるとともに、「いじめ・不登校対策委員 会」を設置し、いじめが発生した場合には速やか対応できるよう体制を整える。

## 基本施策6に関連する 業務活動

	TT 10 45 -		.107 TEE	
No	取り組み	2 1	概要	
1	小学校通学バス運行	額田地区における遠距離通学児童の通 ミュニティバスの走らない時間帯、土 による通学バスを運行します。		
	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性
		通学バス利用対象人数	76 人	継続実施
2	交通安全指導	市民の交通安全意識を高めるための交 老人クラブ等と協力して行います。	通安全教育を地域や <i>幼</i>	)稚園・保育園、
2	【安全安心課】	参考指標	現状値	方向性
		交通安全教室実施回数	110回	維持
	交通少年団	子どもを事故から守る地域運動として める活動を推進します。	、小学生のうちから交	通安全意識を高
3	育成補助	参考指標	現状値	方向性
	【安全安心課】	交通安全啓発活動参加回数	10回	維持
	青少年健全育成啓発	青少年の健全育成について「青少年は るため国、県と連携して啓発活動を行		う意識を醸成す
4	【社会教育課】	参考指標	現状値	方向性
		街頭啓発活動実施回数	3 回	維持
5	生活安心推進	市・警察・地域の連携による一体となった防犯体制の構築、 の自主防犯意識向上による犯罪のおきにくいまちづくりをめ の防犯ブザーの配布、小学校等での防犯教室,不審者侵入訓練 の事業を推進します。		oざし、 <mark>小学生へ</mark>
	【安全安心課】	参考指標	現状値	方向性
		刑法犯罪認知数	3,278 件	減少
	少年愛護センター	少年の問題行動、非行防止のための街 指導を行います。	頭補導や青少年に対す	る助言・相談・
6	管理運営	参考指標	現状値	方向性
	【社会教育課】	街頭補導活動数	513回	維持
7	不登校相談	不登校の児童生徒やそれに悩む保護者 一の臨床心理士等と適応指導教室であ 応を起こした子供たちが、再び元気を るように支援を行います。	る「ハートピア岡崎」	が連携し、不適
	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性
		学校復帰率	86%	維持
		不登校関係相談件数	1,906件	継続実施
-				

# 基本施策7 困難を抱える子どもや保護者へのきめ細かな取り組みの推進

# 

## 施策の背景

家庭や家族の形態、親の就業状況、個人のライフスタイルは多様化しており、離別や死別によるひとり親家庭、被虐待児童、定住外国人の子どもなど、特別な配慮を必要とする子どもが増加しています。

発達障がいなど、発達に心配のある子ども<mark>が</mark>増加しており、発達段階に応じたきめ細かな支援が求められています。児童福祉法の改正により、平成24年度から新しい障がい児支援制度が施行され、障がい児通所支援、障がい児入所支援、障がい児相談支援に関し円滑な事業の推進・連携を図るため、<mark>支援</mark>基盤<mark>の</mark>整備が進められています。

児童虐待への対応については、平成12年に「児童虐待の防止等に関する法律」が施行され、その後も制度改正や児童相談所、要保護児童対策地域協議会や関係機関との連携による体制強化など、その充実が図られてきました。虐待は、どの家庭でも起こりうるものであり、依然として社会全体で取り組むべき重要な課題となっています。子どもへの身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待は、子どもの体や心を深く傷つけ、子どもの健やかな育ちを阻害する人権侵害であり、関係機関との連携による虐待の発生防止を重点的に行っていく必要があります。

生活保護受給世帯やひとり親家庭の子ども、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設などに入所中の子どもは、自身の努力とは関係なく、保護者の経済的環境などから社会的不利益を被るリスクが高くなっています。また、生活に困窮した養育環境で育った子どもが親の生活様式を踏襲し、将来、同じように貧困状態に陥ってしまうことが問題となっています。「教育の格差」や「子どもの貧困」をなくし、その連鎖を防止するには、「子どもの権利条約」も踏まえ、すべての子どもたちが尊重され、その育ちが等しく確実に保障され、当事者の目線にたって個人の希望がかなえらえる環境を実現する取り組みが必要です。

子どもの人権を保障するため、児童虐待の早期発見・早期対応とともに発生予防の重要性を常に認識し、「子どもへの暴力防止プログラム ( C A P プログラム )」を専門に実施している市民活動団体と協働し、子どもと保護者、教職員を対象に専門のプログラムを取り入れた虐待予防に向けた積極的な取り組みを行います。

### 子どもワークショップ



おとな(教職員、保護者)ワークショップ



## (2)子どもの貧困対策の推進

ひとり親家庭が直面している困難を解消するため、経済的な支援を行うとともに、生活の支援、養育費の確保を含む相談・情報提供の充実を図ります。また、経済的に自立し、安定した生活を送れるよう、キャリアアップにつながる就労活動の支援を行います。

家庭の経済状況を原因として、子どもの自尊感情や将来への意欲の低下など教育機会の格差が生じることを防ぐため、児童生徒への就学援助やひとり親家庭等への就学資金の貸付や学習の支援など、子どもの教育に関する支援のために必要な施策を推進します。

市内の児童養護施設で暮らす児童が安定した人間関係の築ける家庭的な環境で生活が送れるよう、愛知県が取り組む児童養護施設の小規模化・地域分散化や<mark>里親制度の普及</mark>格子とで、家庭的養護を進める方策に協力します。

### ひとり親家庭への主な支援事業

#### 相 談 休 制

- ・母子・父子(自立支援)相談、家庭児童相談を実施
- ・女性特有の悩み事や法律関係の相談については、専門機関と連携し対応

## 就 労 支 援

- ・求人情報の提供・求職紹介の実施
- ・働くための技能・資格を取得する就労支援講習会の開催
- ・就職に役立つ技能や取得につながる各種講座を受講するための費用を助成

### 生活支援

- ・児童扶養手当、遺児手当など各種手当の給付
- ・母子父子寡婦福祉資金の貸付、医療費の助成、寡婦(夫)控除のみなし適用 など

# (3)障がい児施策の充実

本市における障がい者施策の基本的指針である「第4次岡崎市障がい者基本計画」(平成27年度~平成32年度)及び「第4期岡崎市障がい福祉計画」(平成27年度~平成29年度)のもと、障がい児に安定したサービスを提供します。

本市の福祉基盤の中心的な役割を担ってきた「岡崎市福祉の村」は、発達障がいに関する相談・診療・療育施設「こども発達センター」の新設や障がい児・者の交流施設である「友愛の家」の規模及び機能の充実など再整備に取り組みます。特に相談支援体制については、「こども発達センター」内相談センターでの障がい児の相談支援、「新友愛の家」内基幹相談支援センターでの障がい者の相談支援を整備し、障がい児・者の相談支援の総合拠点を確立していきます。

第4次岡崎市障がい者基本計画に基づく障がい児主要施策

分野	推進施策
	短期入所(ショートステイ)の充実
生活支援	補装具費の支給
土泊又扬	日常生活用具費の <mark>給付</mark>
	特定相談支援事業者・障がい児相談支援事業者による計画相談支援の充実
保健·医療	障がい児通所支援・障がい児相談支援事業の充実
体性 运掠	障がい児・者に対する地域療育等支援の推進
教育・保育	障がい児支援体制の整備
<b>教育 体育</b>	障がい児に対する放課後等活動の場の充実
	広報誌等による啓発活動の推進
 参画·協働	障がい者に対する理解の啓発
多岡・肋側	幼稚園・保育園、学校での福祉教育の推進
	地域における福祉教育の推進

発達に心配のある子どもと保護者に対し、必要な支援を必要な時期に提供できるよう早期療育システムを構築し、切れ目のない支援体制を確立していきます。

発達に心配のある子どもへの切れ目のない支援体制

関係・専門機関での 発達相談

保育園・幼稚園への巡回訪問

放課後の活動の場の提供

健診・医療等での 障がいの早期発見

療育・福祉サービス の提供

教育相談センターでの <mark>教育</mark>支援

# (4)定住外国人の子どもに対する支援の充実

外国人の子どもと子育て世帯が地域コミュニティ内で円滑に共生し、かつ、安定した 生活を将来にわたって送れるよう、行政や医療、子どもの教育など基本的なサービスを 理解し、平等に受けることができるよう配慮します。

子どもの教育支援に関しては、民生委員児童委員等地域と連携し外国人の子どもの状況把握に努め、不就学・不登校を防止するとともに、学齢前の外国人の子どもを持つ保護者へ小学校の情報提供等、日本の学校制度の説明や中学校卒業後の進路相談など「生きる力」を育むための施策を推進します。

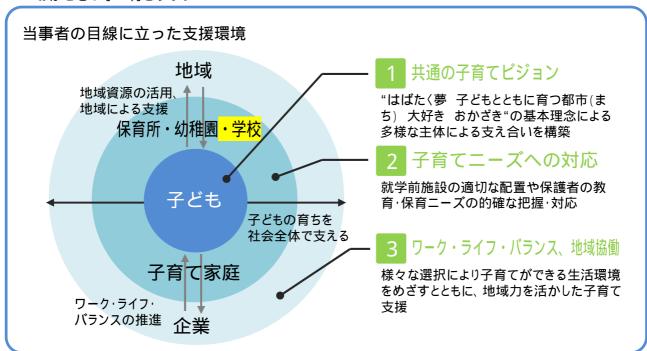
No	取り組み	事業概要			
		障がい児に、児童福祉法に基づく障が 児童発達支援、放課後等デイサービス 児相談支援の安定したサービス提供が	、及び保育所等 <mark>訪問支</mark>	援)及び障がい	
	障がい児通所支援	参考指標	現状値	方向性	
9	障がい児相談支援	児童発達支援	240人	継続実施	
	【障がい福祉課】	医療型児童発達支援	11人	継続実施	
		放課後等デイサービス	267人	継続実施	
		保育所等訪問支援	0人	継続実施	
		障がい児相談支援	<mark>29</mark> 人	継続実施	
		小児科医師・保健師・臨床心理士など 談に応じます。	が発育・発達・子育て	などに関する相	
10	子ども発達サポート	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	専門相談の件数	52 件	継続実施	
		関係機関との連絡調整延件数	10件	継続実施	
		心身障がい児(者)の医療費の自己負担分を助成します。			
11	障がい者医療助成	参考指標	現状値	方向性	
	【医療助成室】	障がい者医療受給者証交付数	717件	継続実施	
		障がい 者医療受診件数	93,036 件	継続実施	
	発達遅滞児支援	言語や社会性等の発達に遅れや不安が 児の発達に合わせた保健指導を実施す 社会生活を促します。			
12	75.2.2	参考指標	現状値	方向性	
	【健康増進課】	初回参加年齢が2歳6か月未満の割 合	96.7%	維持	
		健診事後の訪問指導延件数	262件	継続実施	
	日本語教育講師派遣	日系及び外国籍児童生徒の日本語教育	のための講師を派遣し	,ます。 	
13	【学校指導課】	参考指標	現状値	方向性	
		日本語教育講師派遣回数	1,900回	<mark>増加</mark>	
14	外国人相談	日本語能力が不十分な外国人家庭を対 を送るうえで重要な行政手続きを補助 応じます。			
	【市民協働推進課】	参考指標	現状値	方向性	
		中国語・英語による相談件数	229 件	継続実施	

# 第6章 推進体制

# 1 地域における子育て支援の推進

本計画の基本目標「子どもが いきいきと 育つまち」、「家族が ともに 育つまち」、「地域が すすんで 支えあうまち」の実現に向け、行政だけでなく、市民、教育・保育を始め とした事業関係者、市民活動団体、地域団体、企業などとの連携により子育て支援を進めていきます。それぞれが担うべき役割を認識し、各自の特徴を活かしたきめ細やかな取り組みを行うことで、社会全体で子どもと子育て家庭を支えていくまちづくりをめざします。

### おかざきっ子 育ちプラン



# 2 計画の点検・評価

本計画では、子ども・子育て支援新制度に基づく、それぞれの家庭や子どもの状況に応じた質の高い成育環境を保障する「子ども・子育て支援給付」と、妊娠・出産期からの切れ目ない支援を保障する「地域子ども・子育て支援事業」について、具体的な目標事業量と確保の方策及び実施時期を設定しています。(第4章)

これらの事業は、当事者の目線に立ったチェック体制が重要であることから「岡崎市子ども・子育て会議」を評価機関として位置付け、各年度において、各事業の実施状況(教育・保育施設の認可等の状況を含む)を点検、評価し、事業の実施状況を公表する等、計画的な進行管理と事業の改善を行っていきます。